



どれだけ買うの？

「なんでもかんでも買って来ます」

認知症のお父さんをもつ娘さんからの相談でした。

一人暮らしをしているお父さん。なんでもかんでも買ってしまってお金が足りないという。予算の管理ができなくなっているのです。

買い物に行かないでと言っても買い物に行く。そこで予算を考えずに買ってしまおう。

月の予算と、今までに購入したものを覚えていられないからです。



「なんでもかんでも買って来ます」その背景には何があるのでしょうか？

娘に服を買ってあげたい？
店員さんと話したい？
誰かの役に立ちたい？
自分への投資？

様々な理由があるしその背景を知ることはとても大切です。

その背景に寄り添うことを前提とした上でよく行くお店には事情を話して買えない工夫や返せるように協力してもらうことも一つの策です。

金銭の管理方法も考えてみましょう。



もえこの

+1

アドバイス

知識と経験があると考える、想像する事が容易になります。

そして、想像＝創造
認知症介護はクリエイティブだと思っています。

認知症に関する様々な知識を身につけましょう。避けて通れないなら、適切な対策や手段、新しい情報などを得る。それが、あなたの身を助けるのです。

「みんなの認知症介護をハッピーに」は、林炎子さん公式ブログ「家族で支える認知症ケア」より抜粋、参照しています。

【好評発売中】林炎子著
「家族で支える認知症ケア3つの救急箱」
(Kindle本) <https://amzn.to/2KGRz9a>

「どんより介護からハッピー介護へもっと楽になる考え方を伝えたい！」
林 炎子 (もえこ) さん
(日本アタッチメント協会 代表)



看護師で認知症介護歴32年の林炎子さんは、認知症介護に携わってきた経験や知識を一人でも多くの方に知ってほしいと、「目からうろこの認知症セミナー」を開催されています。
<http://ninchishouch.jp/wp>

認知症になっても大丈夫。

認知症があっても大丈夫。

いつでもどこでもかけつける
あなたの家の救急隊！

★電気工事全般★
★水道工事全般★
★エアコン工事全般★

（株）太田電機工業所

阿久根店 電話 73-2800 | 出水店 電話 63-1966

ホームページ <http://oota-denki.com/>



ケア・リフォーム 暖家だんけ
(電話 0996-73-2073)
<http://danke-care.com/>
CRS (ケア・リフォーム・システム研究会) 会員

住まいが変われば 生き方が変わる！

生きることは喜び！

あなたの暮らしを安全・安心・快適に！
変えます。創ります。支えます。



～高齢者や障がい者(児)のためのほっと笑顔工房～

ケア・リフォーム 暖家だんけ

ReLife り・らいふ通信

～暮らし・生活・住環境を見つめなおして～

No. 47 * 2019年10月

(株)太田電機工業所
ケア・リフォーム事業部

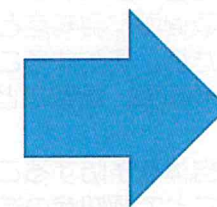
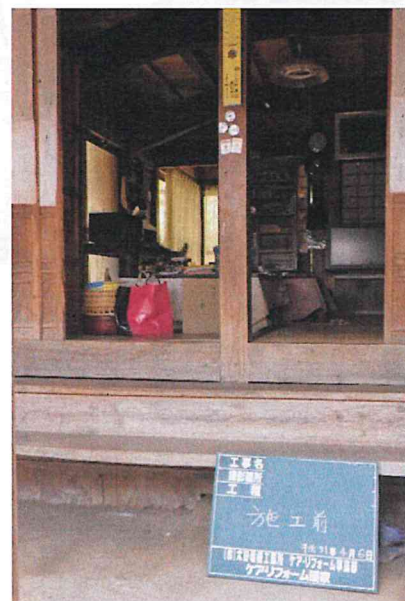
鹿児島県指定
福祉用具貸与・特定福祉用具販売事業所
介護保険事業所番号4670600396

手すり事例

住み慣れた 愛着のある我が家だから「手すり」を ～これからも元気に暮らす為に～

〇様は山間部の古民家にお住まいですが、昔ながらの民家は床が高く、足腰がだんだん弱り、玄関から居間への出入りがしづらくなっておられました。昇降が不安定で、足をすべらせて転倒する危険があったので、体を支える手すりと、土間に幅広の踏み台を設置しました。(介護保険住宅改修一部利用)「楽になった～」と喜んでいただきました。

思い出いっぱいの我が家だから、ここで永く住みたいねえ



介護保険を使って、あがりごまちにレンタル商品を置くこともできます。ご本人のADL(日常生活動作)がスムーズに、安全に行えるよう、またご本人の意向も伺いながら決定していきます。



介護保険住宅改修・福祉用具機器のレンタル・販売はおまかせください！

車いす



特殊寝台



歩行補助つえ



設置型手すり



折りたたみ可能
面手すり



歩行器



トイレ用
フレーム





看護師・認知症介護32年
日本アタッチメント協会
代表 林炎子さん
のWebサイト
「認知症チャンネル」
から抜粋してお伝えします

若年性認知症のこと

ご存知ですか？

～高齢者の認知症との違いについて～

1. 若年性認知症とは

若年性認知症とは従来から言われてきた40歳から64歳に発症した初老期認知症に、18歳から39歳までに発症した若年期認知症を加えた認知症の総称です。

18歳から64歳までに発症する認知症の事を若年性認知症と言います。

若年性認知症という独立した病気があるわけではなく、発症年齢で区分した概念です。(健康長寿ネットHPより)

2. 若年性認知症の原因

認知症とは、認知症という病気ではなく、原因となる病気があって、生活する上で支障が出ている状態をいいます。認知症の原因となる病気は、高齢者の認知症も、若年性認知症も変わりませんが、原因となる病気の割合は違います。

若年性認知症の原因の第1位は脳血管性認知症で、若年性認知症の約40%を占めるといわれています。脳梗塞や脳出血などの脳血管疾患により、認知症を発症します。次いでアルツハイマー型認知症、その次は前頭側頭型認知症といわれています。脳梗塞や脳出血が若年性認知症の原因だとしたら、予防することは可能でしょう。生活習慣病からくる、脳梗塞や脳出血は食事や運動、睡眠などの生活習慣を見直すことで発症のリスクは低下します。

また、癌を予防できないのと同じで、認知症自体を予防することは難しいですが、原因となる病気があっても、脳を活性化することで認知症の進行を予防することはできると考えられています。

3. 病院受診のタイミング

認知症の初期には確定診断が難しい場合があります。若年性認知症と思わずに疲れや更年期、仕事のストレスなど思い病院受診が遅れたり、また、うつなどと思い受診すると病院によって誤った診断のまま、認知症の症状が進行することもあるようです。

病院受診をしてくれないという話は高齢者の認知症でもよく聞きます。高齢者の病院受診も難しいかもしれませんが、若年性認知症かも？という方が受診したいというタイミングを外さないことは大切です。

認知症というものは「もの忘れ」が先行して伝えられているため、判断能力が落ちたり実行機能が低下するのが認知症のせいだとは思わない。だから、なかなか受診できないのではないのでしょうか。若ければなおさらです。仮に知識があっても、認知症に対するネガティブなイメージが先行しているとこれまた受診できません。

だから「受診しない」のではなく「受診できない」ことも多くあるでしょう。

しかし、治る認知症もありますし、受診して認知症でなければ安心できます。

仮に万が一、認知症だったとしても何もしなければ進行しますが、早くから対処することで、認知症の進行を遅らせることもできます。

実際、私の知る若年性認知症の方は、アルツハイマー型認知症と診断されて10年以上経ちますが、生活に工夫をし、脳の活性化を意識することで、今でもiPadなどを使いこなし、講演もこなし、生活しています。



4. 何科を受診すればいいでしょう？

認知症患者さんを受けている科は精神科や神経内科、脳神経外科が多いでしょう。(病院によって、認知症患者さんの受け入れには幅があるので、ホームページや電話で確認してみましょう。)

また「物忘れ外来」という専門外来がある病院もひとつの選択肢です。

私の一番のお勧めは**認知症の事をよく知り、認知症の症例数をたくさん持っている医師がいる病院**です。若年性認知症をたくさん診察している病院を探すのも良いでしょう。また、認知症に関する本やブログを執筆している医師や、共感できる、納得できる医師の病院を受診するのもお勧めです。

認知症の専門医療機関として、認知症疾患医療センターや認知症専門医、認知症サポート医などもあります。

5. 若年性認知症の治療

治療方法は、高齢者の認知症と同じで、薬物療法と非薬物療法があります。

【認知症の薬】

中核症状である認知機能低下の進行を抑える認知機能改善薬が中心に用いられます。周辺症状(BPSD)対策には、症状に応じて漢方薬や向精神薬や非定型向精神薬が用いられます。

【非薬物療法】

回想法、作業療法、芸術療法、音楽療法などの薬によらない治療方法で、医療機関、福祉施設、介護施設などで実践されています。

6. 高齢者の認知症との違い

若年性認知症の症状自体は高齢者の認知症と同じですが、身体面や心理面、社会的立場が年代によって違うので、**原因となる病気や症状が同じでも、自分や周囲の人の捉え方や、及ぼす影響が違い、それに応じた援助が必要になってきます。**また**認知症と診断された本人の気持ちも、家族の気持ちも、発症が若いからこそ高齢者と違うものがある**でしょう。

無駄に怖がらせるつもりはありませんが、この違いを知ることでより良い援助ができるようになります。

若年性認知症で使える社会制度

(参考 厚労省ホームページ)

- ・自立支援医療(問合・申請:市区町村の障害福祉担当課)
- ・傷病手当金(問合・申請:職場の人事部・協会けんぽ)
- ・保健福祉手帳(問合・申請:市区町村の障害福祉担当課)
- ・年金、成年後見制度など

・介護保険

若年性認知症の初期では介護保険のサービスより、仕事やボランティアで社会とつながっている方が望ましいです。しかし、認知症が進行した場合は、一人で抱え込まない為にも、介護保険を利用し、本人や介護者の負担を減らすことも考えましょう

介護保険サービスを利用できるのは、基本的には65歳以上ですが、認知症(特定疾病)であれば、40歳以上で介護保険サービスを利用することができます。

「若年性認知症」この響きを聞くと、辛い未来が待っているかのように思うかも知れませんが、若いゆえに、高齢者の認知症にはない悩みもあるでしょう。大変なこともあるでしょう。周りの人にわかってもらえないこともあると思います。そんな時、心を閉ざさずに、ぜひ共感してもらえる人や場所で、あなたの気持ちを相談して、また援助の方法を見つけて欲しいと思います。周りの人は、あなたを助けたいと思っています。その気持ちを上手く表現できない人もいますが、きちんと受け止めてくれる人もいます。大切なのは、自分一人ではないと思えること、そして一筋でもいいので、光を見つけられるよう心を開いておくことだと思っています。

